

いいかも

(昨年度在宅型取組100%達成の可茂)

可茂県事務所 振興防災課
 家庭教育推進専門職 鈴木淳司
 〒505-8508
 美濃加茂市古井町下古井 2610-1
 TEL: 0574-25-3111 内線 208
 FAX: 0574-25-3934

青空のもと、密を避けて『親子いもほり』

八百津町では、コロナ禍での乳幼児学級「いもほり」が行われました。開会式の中では、担当者の

「今年度、最初で最後の乳幼児学級となりました。今回は町内のすべての乳幼児学級生さんに案内状を出して呼び掛けております。」という挨拶から始まりました。

密集・密接をさけて、他家族とディスタンスをとって指定された畑の分担、マスクや手袋の着用、検温、手洗い、消毒など様々な配慮がみられました。そして、講師の先生からは、蔓から芋の

でき方のお話や収穫時期では開花を見ることができないので「サツマイモの花」の写真を提示にしてのお話を興味深く聞くことができました。お話が終わるとさっそく親子で芋ほりの開始となりました。

「疲れちゃった」「頑張ろう」「まだ終わりじゃないよ」「焼き芋はできるかな」など楽しい会話が弾みました。収穫後には準備した大きな袋に芋を入れ、各家庭へのお土産として持ち帰りました。

帰路の保護者同士の会話では「芋は家でどうやって保存すればいいの?」「どこにお裾分けしようか」など、うれしい悲鳴も聞かれました。

サツマイモ畑の持ち主である講師の先生からは、事前に撮影しておいた「サツマイモの紫色の花」の写真をもとに、春に植える時の留意点と秋の芋の付き方・掘り方のコツを教えてくださいました。

体験活動参加型の乳幼児学級

学 級 名	八百津町乳幼児学級
実 施 日 時	11月11日(水)
会 場	八百津町野上地区の芋畑
参 加 人 数	16組の親子
学 習 課 題	おおきなおいも ほれるかな?
講師の話	平成12年より、小学校や中学校の学習活動も含め、毎年続けています。私の畑では1000株近くの苗を栽培しています。 今年度は残念ながら、コロナ禍のために、皆さんの手で春に苗を植える作業ができなかったため、教育委員会の方に手伝ってもらいました。例年は収穫した芋を八百津町の産業祭で焼き芋や切り干しにして配ったり、しおなみ農産物直売所で販売したりしています。
活 動 内 容	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講師のお話 2. 親子で芋ほり活動 3. 焼き芋と切り干しの試食 4. <参加した保護者の声> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の芋ほりには、地域でつながるため、子どものお友だちづくりのために参加しました。 ・CC ネットの取材があったが、親子での活動の様子を後で観るのが楽しみになりました。 	



幼児にとっては自然の中での楽しい、楽しい土いじりでした。親と子で“芋ほり”という共通の目的に向かっての活動があり、親子の会話も深まっていました。



一つの乳幼児学級だけでなく、他地域の学級生にも呼び掛けることで、八百津町全体での仲間づくりをしようという意図や絆が感じられました。

青空と紅葉のもと、地域の里山公園で親子探索

美濃加茂市には、双子のお子さんの保護者を対象にした「さくらんぼ学級」も含め、合計21の乳幼児学級があります。11月には多くの学級で“自然の中であそぼう”というテーマで地域散策が計画されています。行き先のベスト3は、ぎふ清流里山公園・リバーポートパークみのかも・あいあいバスに乗って前平公園です。今回は、コロナ禍の中で密をさけるため、行先は地元の里山公園、山之上「おにぎり乳幼児学級」を晴天のもとで取材してきました。

美濃加茂市は、どの学級を訪問しても、学級生の主体性や組織体制が感じられます。当日の内容は、

- ① 当番班の挨拶とお誕生日おめでとう
 - ② 本日のテーマとなる中心活動
 - ③ 絵本の読み聞かせ
 - ④ テーマに基づいたグループトーク
- という流れでした。



体験活動参加型+子育てサロン型の乳幼児学級

学級名	山之上乳幼児学級“おにぎり”
実施日時	11月12日(木)
会場	ぎふ清流里山公園
参加人数	4組の親子
学習課題	地域の公園を親子で探索してみよう
活動内容	
<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめのごあいさつ 2. 当番班担当のご挨拶 3. 今月のお誕生日おめでとうコーナー 4. やまびこ学校の前でのくどんぐり拾い 5. グループトーク<ストレス解消法> <ul style="list-style-type: none"> ・スイーツを食べる ・買い物に行き、爆買いをする 6. 読み聞かせ本『れっしゃ だぞう』 7. 次回12月の計画とお知らせ 	
<p><参加者の感想から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ山之上町内にある里山公園なのに、ここまで来たのは初めてです。 ・運動不足を実感し、気持ちのよい季節になったので、外でたくさん遊ぶことができました。 <p><グループトーク「我が家のマネー術」より></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの物なら、誰かに譲ってもらったり、リサイクルショップを利用したりしている。 	



身近な公園での楽しいひと時でした。青空のもとで、子ども達の心が解放されて、保護者の心もすっかりリフレッシュされ、軽くなったようでした。「また、来てみたい」という声も聞かれました。

【青空、紅葉した落ち葉の上で、毎月の当番制による読み聞かせの絵本に親子が集中していました】